

報告事項 3

第五次愛知県教育振興基本計画(仮称)第1回検討会議について

このことについて、令和7年5月 20 日に、第五次愛知県教育振興基本計画(仮称)第1回検討会議を開催しましたので、別紙資料に基づき報告します。

令和7年6月4日

あいちの学び推進課

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）検討会議 委員名簿

氏名	所属	役職	備考
いがらし 五十嵐 哲也	愛知教育大学	学校教育講座 教授	
いちばら 市原 やすお 康雄	愛知県専修学校各種学校連合会	会長	欠席
いまい 今井 たかよし 隆喜	愛知県小中学校PTA連絡協議会	会長	代理出席 はせお 長谷生かおり
いやはら 岩原 あきひこ 明彦	愛知県経営者協会	専務理事	
かとう 加藤 ちか 智	愛知淑徳大学	文学部教育学科准教授	
かとう 加藤 ひろや 広也	愛知県小中学校校長会	会長	代理出席 みずたに しげき 水谷 茂樹
かとう 加藤 まさひこ 正彦	都市教育長協議会	代表	
くりき 栗木 はるひさ 晴久	愛知県公立高等学校長会	会長	欠席
さかき 榎 なおき 直樹	愛知県私学協会	会長	
しばた 柴田 よしあき 好章	名古屋大学	教育学部附属中・高等学校長 大学院教育発達科学研究科教授	
たかはし 高橋 あつし 篤	町村教育長協議会	会長	
とりい 鳥居 はるみ 春美	愛知県公立高等学校PTA連合会	会長予定者	
はたなか 畑中 たけひこ 丈彦	愛知県特別支援学校長会	会長	代理出席 まえだ せいじ 前田 政治
はやし 林 やすひろ 泰弘	東海市立名和小学校	教諭	
ほり 堀 なおよ 直予	愛知県立豊田南高等学校	教諭	
みずこし 水越 しょうぞう 省三	愛知県私立幼稚園連盟	会長	
むろた 室田 ひふみ	愛知県国公立幼稚園・こども園長会	会長	
やまもと 山本 りえ 理絵	愛知県立大学	大学院人間発達学研究科 教育福祉学部教育発達学科教授	

※五十音順敬称略（18名）

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）第1回検討会議の報告

次 第

(1) 報告事項

- ① 第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）の概要について
- ② 第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）策定までの流れ
- ③ WGの設置について
- ④ 子供からの意見聴取について
- ⑤ 「2023年度 教育に関する事務の点検・評価報告書」の概要

(2) 協議事項

- ⑥ 基本理念について
- ⑦ 基本的な方針と基本施策について
- ⑧ 基本施策と施策の展開について

(1) 報告事項に係る委員意見等

④ 子供からの意見聴取について

【事務局案】

ア 今の学校生活（授業、先生、友だち関係、タブレット端末、ルール、給食、部活動など）が、よりよいものとなるような意見や提案があれば教えてください。また、その理由も教えてください。

イ 読書は、した方がよいと思いますか？しなくてもよいと思いますか？読書をするということについて、あなたが思うことを教えてください。

ウ あなたには、これからもずっと「学びたい」「活動したい」と思うことがありますか？それは、世の中にどのように役立つと思いますか？

○ 検討会議委員からの意見

- ・イの「思うことを教えてください」が答えにくい。「読まないのであれば1日の時間をどう使っているか、何に関心があるか」など子供の考えを引き出すものにしてはどうか。
- ・ウは、役立つことしか書いてはいけないのかと思わせるため、検討していただきたい。

(2) 協議事項に係る委員意見等

⑥ 基本理念について

【事務局案】

社会の担い手となる人材を育むとともに 誰もが自らを高め・高め合うことのできる あいちの学びを進めます

○ 検討会議委員からの意見

- ・「人材」という言葉は、多様性には馴染まないのではないか。
- ・ウェルビーイングの視点は大切だが、言葉がわかりにくいので、幸せや生きがいを感じるという言葉を入れてはどうか。
- ・「高め合う」より「支え合う」共生社会の要素も必要ではないか。
- ・「社会」の前に「これからの」を入れてはどうか。

⑦ 基本的な方針と基本施策について

⑧ 基本施策と施策の展開について

【事務局案】

方針1 社会の担い手として自立し、新たな価値を生み出していく力を育みます	1	主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実
	2	社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進
	3	グローバル社会で活躍する人材の育成
	4	情報活用能力の育成とICT活用教育の推進
	5	<u>多様なニーズに応える</u> 県立学校の魅力化・特色化の推進
	6	切れ目のない校種間連携の推進
	7	私立学校の振興
方針2 多様性を尊重し、様々な選択肢の中で自ら学ぶ力を育みます	8	豊かな心を持ち、実践力を伴った道徳性・社会性の育成
	9	不登校支援と多様な学びの保障
	10	インクルーシブ教育システムの構築
	11	外国人児童生徒への支援の充実
方針3 健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって学べる環境づくりを進めます	12	生涯学習の推進に向けた、支援体制の充実
	13	学校・家庭・地域の連携・協働による地域教育力の向上
	14	困難や悩みを抱える <u>子供</u> への支援の充実
	15	健やかな体の育成
方針4 子供の意欲と教師の働きがいをもつ魅力的な学びの環境づくりを進めます	16	優れた人材の確保と働き方改革の推進
	17	安心安全な学校づくりの推進
	18	教育DXの推進及び、デジタル人材の育成とICT教育環境の整備

○ 検討会議委員からの意見

- ・ 5の「多様なニーズに応える」は、方針2の「多様性」と重なるため住み分けが必要ではないか？
- ・ 9の「不登校支援」は「不登校支援を含めた」という表記にした方がよいのではないか？
- ・ 14は貧困家庭が想定されると思うが、子供という表現でよいか？
- ・ 幼保小の連携は、カリキュラムの接続まで記載してほしい。
- ・ 子供の権利条約について記載してほしい。
- ・ 大学入試は変わっているが、高校入試が変わらないと、中学校の探究的な学びに影響していかない。
- ・ 幼稚園、保育園の人材確保も含めてほしい。

《その他の提案》

- ・項目の見直しはよいと思う。網羅的になりすぎると学校現場に浸透していけないので、似たものはまとめるなどしてほしい。
- ・公立学校の役割を明確にしてはどうか？
- ・名古屋市との関係について、名古屋市をオブザーバーに呼ぶなど工夫できないか。
- ・働き方改革ロードマップは今後アップデートしていただきたい。
- ・幼保小の連携に中学校も加えていただきたい。
- ・WG 1 の中高一貫教育や国際バカロレアは、特定の学校に限られるので、ふさわしくない。
- ・幼稚園の特別支援教育ニーズが高いため環境を充実してほしい。